

COOL JAPAN FOREST 構想推進事業

— No.7 所沢市 —

【事業の内容】

「COOL JAPAN FOREST 構想」は、本市と株式会社 KADOKAWA が、共同プロジェクトとして取り組んでいる、文化と自然が共生した、「住んでみたい」「誰もが訪れたい」地域づくりを進める構想です。

株式会社 KADOKAWA が東所沢地域に建設を予定している「（仮称）ところざわサクラタウン」を中心に、所沢の魅力である「豊かなみどり」と「人々のにぎわい」が同居する憩いの場として、東所沢公園や東川の桜などが一体となった「みどりと文化のまち」を目指します。

【事業年度】

平成 27 年度～

【予算額(千円)】

390千円（平成 28 年度当初分：一般財源（市））

21,596千円（平成 27 年度 3 月補正対応し、全額平成 28 年度予算へ繰越。地方創生加速化交付金：国補助 10/10）

【事業実施に至った背景・経緯】

当市では、旧所沢浄化センター跡地の利用を検討する中で、設備の除却費用を含めて買取りしていただける事業者を探していました。

事業者は、買取金額及び買取後の活用方法の提案により選定する「企画提案方式」で選定し、その結果、株式会社 KADOKAWA に決定しました。

その後、平成 27 年 4 月 16 日に角川会長をはじめ株式会社 KADOKAWA の関係者が本市を訪問され、施設建設の概要説明と共同事業の提案がされたことがきっかけとなり、平成 27 年 6 月 4 日、「COOL JAPAN FOREST 構想」の共同記者発表に至りました。

【事業のPRポイント】

- 新しい地方創生を体現
行政と民間が共同で取り組むことで今までにない地方創生の姿を体現します。
- 所沢からクールジャパンを発信
狭山茶、狭山湖、三富新田など所沢だからこそ培われた「みどりと文化」の魅力を世界に向けて発信します。
- みどりと文化と産業が寄り添う
豊かなみどりと人々のにぎわい、元気な産業が同居する、他では類を見ないエリアが、まちの魅力と元気を高めていきます。
- 住んでみたい・訪れてみたいまち
全国から、海外から、多くの人々がここにやってくる、新たな息吹を感じながら「ほっ」とできるようなまちを目指します。

【事業実績・成果・今後の展開】

平成27年9月議会で補正予算対応し、事業費48,812千円で事業を実施しました。本事業は、まち・ひと・しごと創生法に基づく地方版総合戦略の施策として位置付け、国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用しました。（国補助：補助率10/10）

- COOL JAPAN FOREST 構想基礎調査・策定
 - ・基礎調査：交通・環境関連調査、ICTインフラ調査、文化棟集客調査、外国人観光客動向調査、地域経済波及効果調査等
 - ・産学官連携：地域企業等連携可能性調査、地元大学等連携モデル構築等
 - ・構想策定：構想企画案・報告書作成等
- COOL JAPAN FOREST 構想啓発
 - ・事業啓発：構想イメージ動画・パンフレット・啓発物資の作成
 - ・構想ロゴ作成：構想理念構築、構想イメージロゴ等の作成
 - ・地域住民協働プロジェクト：市民ワークショップの実施等
 - ・文化創造会議：文化等に伴う情報発信イベントの実施等
- 推進会議運営
 - ・「TEAM START」の会議開催に伴う事務費等

【参考資料】



「（仮称）ところざわサクラタウン」
イメージ図
隈研吾建築都市設計事務所

〔 連絡先 〕

経営企画課 総合計画グループ 04(2998)1111(内線9027)